

地盤品質判定士(補)および協議会関係者の皆様へ

宅地の安全に関するディスカッションセッションの紹介

2015年10月9日(金)に地盤工学会関東支部主催の研究発表会『Geo-kanto2015』が東京で開催〔詳細は下記 URL でダウンロードできる参加者のしおり参照〕されますが、この中にディスカッションセッション「自然災害に対するリスク指標と宅地安全性の確保」があり、地盤品質判定士判定士に関連の深い発表があり、その討論が行われます。

http://www.jiban.or.jp/kantou/event/geokanto2015/download/Geokanto2015_leaflet2.pdf

ディスカッションセッション「自然災害に対するリスク指標と宅地安全性の確保」の概要を以下の別紙に示します。参加費は、無料です。Geo-kanto2015 全体の講演集は DVD として販売されていますが、当該ディスカッションセッションについては、当日、DS 会場内で別途、資料が配付されます。ご興味のある方は是非ご参加ください。

2015年10月2日(金)
地盤品質判定士協議会事務局

座長：稲垣 秀輝【環境地質】

地盤工学会関東支部では、「地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する研究委員会」を平成25年7月に発足し、主に宅地の地盤に着目した訴訟例、事故例、契約手法や保険事例等から宅地に関する地盤リスクの抽出と地盤技術者が果たすべき役割などについて、地盤技術者に加えて、弁護士や一級建築士、保険関係者が参画し委員会活動を実施しています。

これまでの委員会活動にて検討した成果について Geo-kanto2014 における DS「国土の脆弱性を考慮した宅地地盤に関するトラブルと品質確保」を開催しました。

さらに、情報を提供するとともに、一般市民も含めた多くの関係者からの意見を収集し、今後の委員会活動に活かすことを目的として、Geo-kanto2015にて以下のディスカッションセッションを開催します。

日時：2015年10月9日(金)13:15-14:45

会場：東京都江東区青海日本未来館7階イノベーションホール、第2会場

1. ディスカッションセッション タイトル

「自然災害に対するリスク指標と宅地安全性の確保」

2. セッション主催

地盤工学会関東支部 地盤リスクと法・訴訟等の社会システムに関する事例研究委員会

3. 内容(案) (セッション枠90分)

1) 座長挨拶：稲垣委員長 (5分)

2) 委員会報告：伊藤副委員長・渡邊幹事長 (10分)

3) 一般発表(各5分×6編=30分)

①地盤災害脆弱性指標と地盤災害安全性指標の関係性：安原一哉(地盤災害リスクマネジメントと気候変動適応の融合に関する研究委員会)・田村誠(茨城大)

②平成26年8月豪雨による広島市土砂災害現地調査結果と気候変動動向に関する速報：荒木功平(山梨大)・川越清樹(福島大)・山中稔(香川大)・ハザリカ・ヘマンタ(九州大)・原忠(高知大)・中澤博志(防災科研)・熊本直樹(広島工大)・齋藤修(茨城大)・酒井直樹(防災科研)

③全国都道府県の自然災害リスク指標 GNS の開発と利用方法の提案：下野勘智・菊本統(横国大)・伊藤和也(東京都市大)・大里重人(土質リサーチ)・稲垣秀輝(環境地質)・日下部治(茨城高専)

④戸建て住宅消費者向けの住宅地盤・地盤災害リスク自動簡易判定システムの開発とその活用：横山芳春・山本強・山辺雅志・伊藤洋一・加藤未希(地盤ネット)・大久保拓郎(環境地質サービス)・中村裕昭(地域環境研究所)

⑤「宅地情報シート」作成の提案：大串豊(M&K コンサルタンツ)・中村裕昭(地域環境研究所)・金田一広(竹中工務店)

⑥戸建て住宅地盤の安全に係わるガイドライン作成への提案：中村裕昭(地域環境研究所)・吉岡和弘(吉岡和弘法律事務所)・平山建治(建設計事務所)

4) 話題提供

「地盤技術者から見た宅地の判例」伊藤和也(東京都市大)・渡邊康司(大林組) (10分)

「弁護士から見た宅地の判例」河合敏夫(河合敏夫法律事務所)・千葉晃平(千葉晃平法律事務所) (10分)

5) ディスカッション (25分)